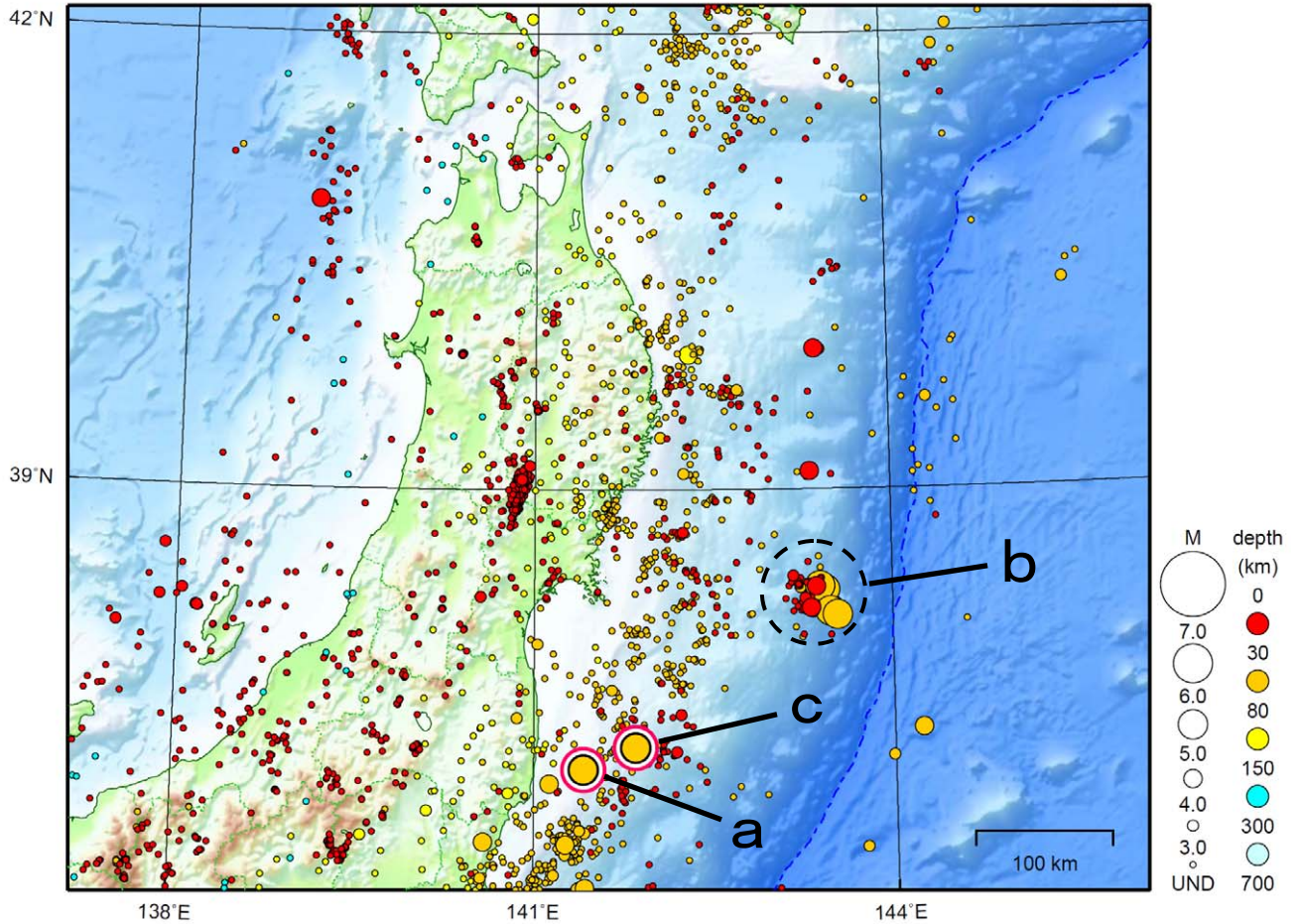


# 東北地方

2011/02/01 00:00 ~ 2011/02/28 24:00

N=2603



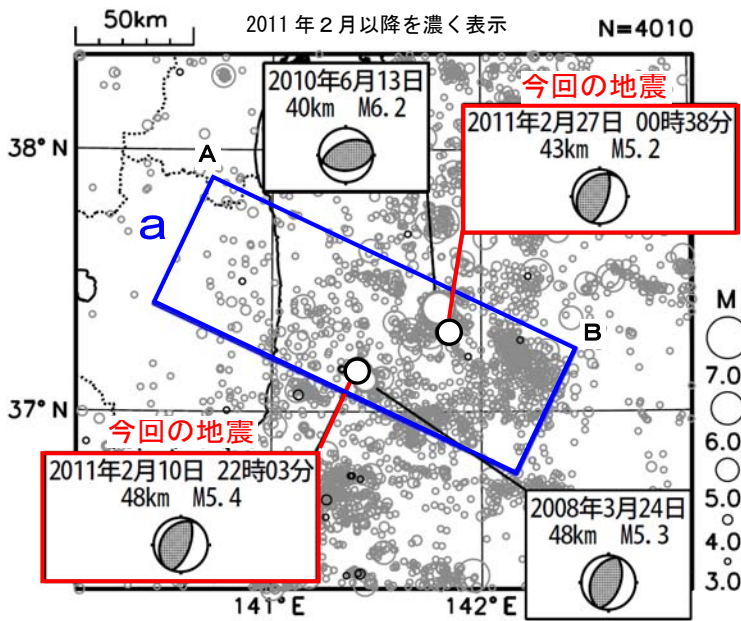
地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

- a) 2月10日に福島県沖で M5.4 の地震（最大震度4）が発生した。
- b) 2月13日から三陸沖で、M5.5 の地震（最大震度1）を最大とする、まとまった地震活動があった。
- c) 2月27日に福島県沖で M5.2 の地震（最大震度3）が発生した。

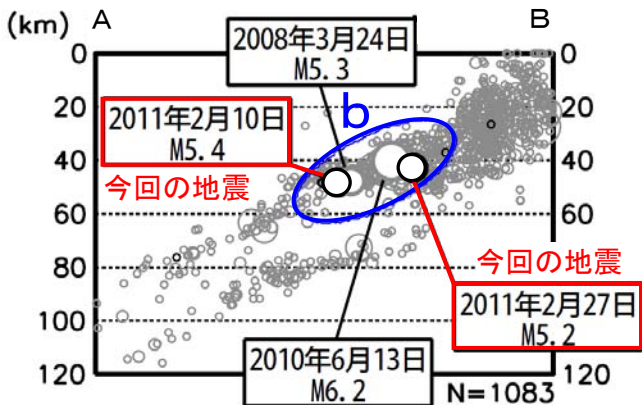
[上述の地震は M6.0 以上または最大震度4以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度3以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

# 2月10日、27日 福島県沖の地震

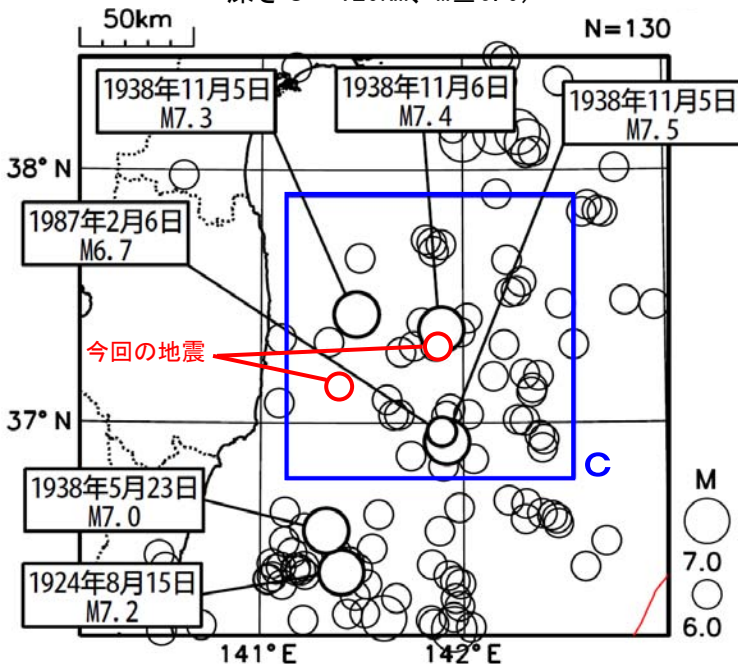
震央分布図 (1997年10月1日～2011年2月28日、  
深さ0～120km、 $M \geq 3.0$ )



領域a内の断面図 (A-B投影)



震央分布図 (1923年8月1日～2011年2月28日、  
深さ0～120km、 $M \geq 6.0$ )

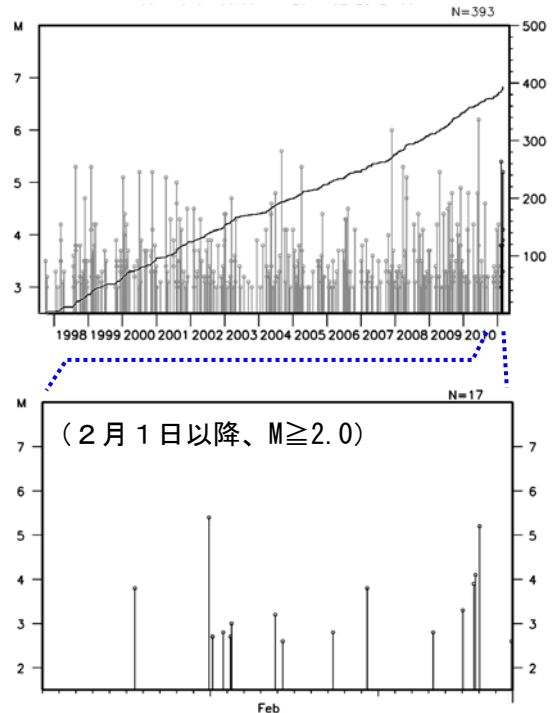


2011年2月10日22時03分に福島県沖の深さ48kmで、 $M 5.4$ の地震 (最大震度4) が発生した。この地震の発震機構は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した地震である。

また、27日00時38分には、この地震の震央から東北東へ約40km離れた場所の深さ43kmで $M 5.2$ の地震 (最大震度3) が発生した。この地震の発震機構は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した地震である。

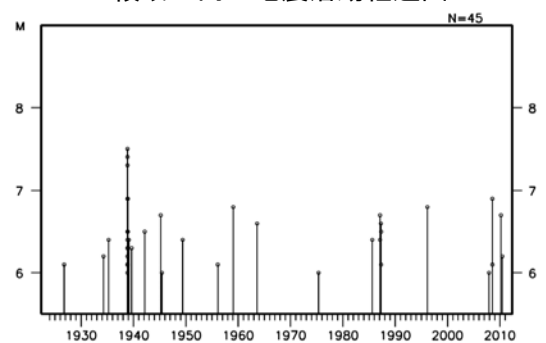
1997年10月以降の活動を見ると、これらの地震の震源付近 (領域b) では $M 6.0$ 以上の地震が2回発生しており、最近では2010年6月13日に $M 6.2$ の地震 (最大震度5弱) が発生している。

領域b内の地震活動経過図及び回数積算図



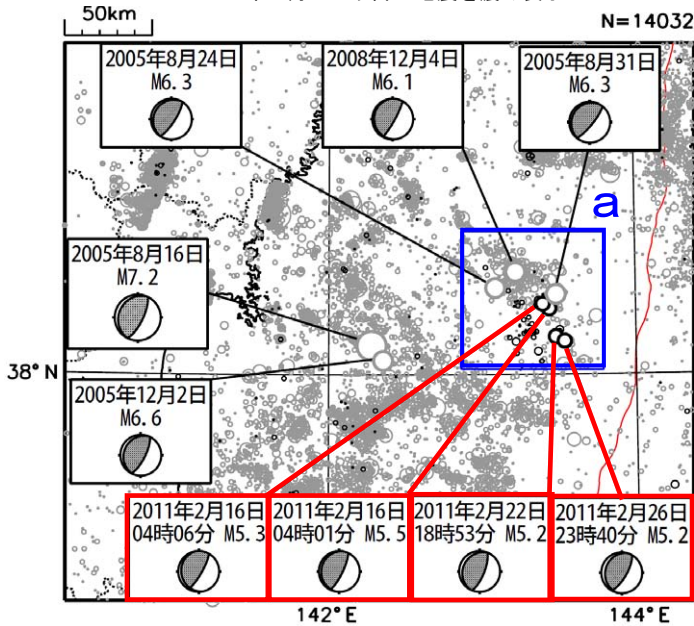
1923年8月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近 (領域c) は、1938年に $M 7.0$ 以上の地震がまとまって発生するなど活発な地震活動があったところである。

領域c内の地震活動経過図



# 三陸沖の地震活動

震央分布図 (1997年10月1日~2011年3月6日、  
深さ0~100km、 $M \geq 2.5$ )  
2011年2月1日以降の地震を濃く表示

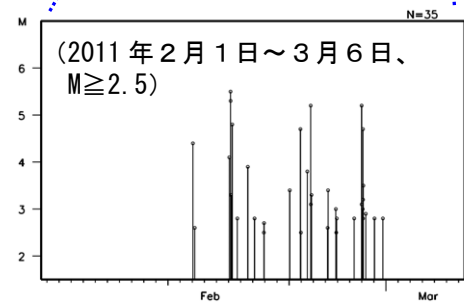
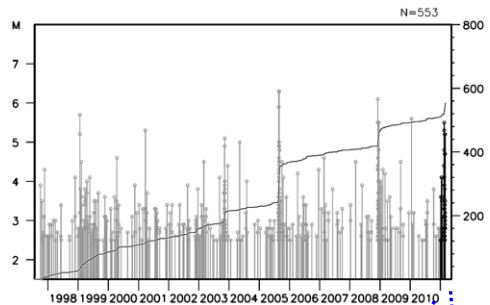


※発震機構はCMT解を表示

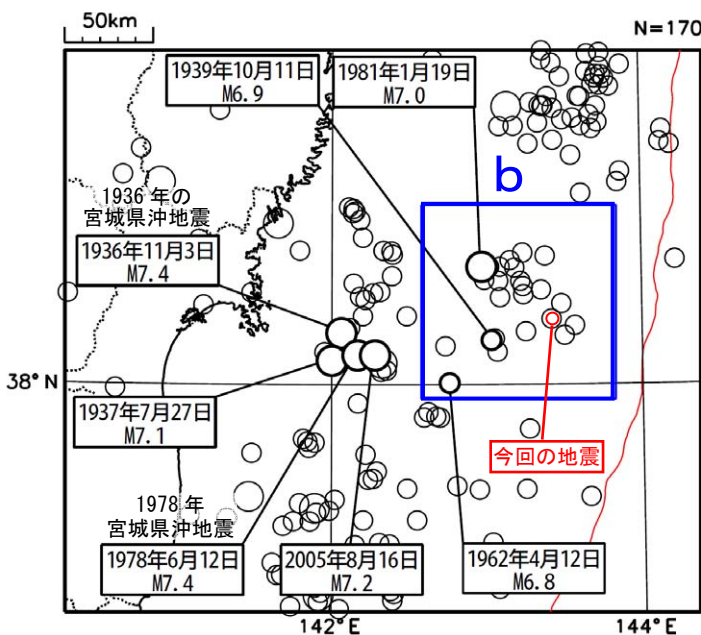
2011年2月13日から三陸沖で、M5.5の地震(最大震度1)を最大とするまとまった地震活動があった。発震機構は、いずれも西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した地震である。今回の活動では、M5.0以上の地震が4回発生している。活動は収まってきている。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域a)は、まとまった地震活動が見られるところで、最近では2008年12月4日にM6.1の地震(最大震度3)を最大とする活動があった。

領域a内の地震活動経過図及び回数積算図

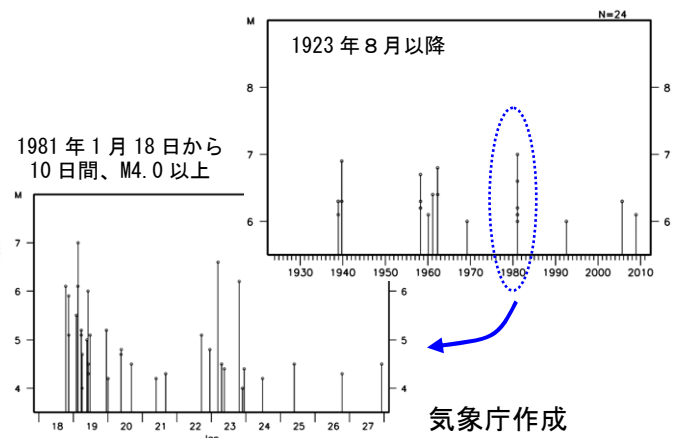


震央分布図 (1923年8月1日~2011年2月28日、  
深さ0~150km、 $M \geq 6.0$ )



1923年8月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近(領域b)では、M6.0以上の地震が度々発生しており、1981年1月19日のM7.0の地震(最大震度4、釜石で高さ22cmなど津波を観測)では、この前後でM6.0以上の地震が6回発生するなど、活発な地震活動が見られた。

領域b内の地震活動経過図



気象庁作成